

## 【10 長崎空港 Nagasaki Airport】



空港着陸前、有明海上空から(右は橘湾)

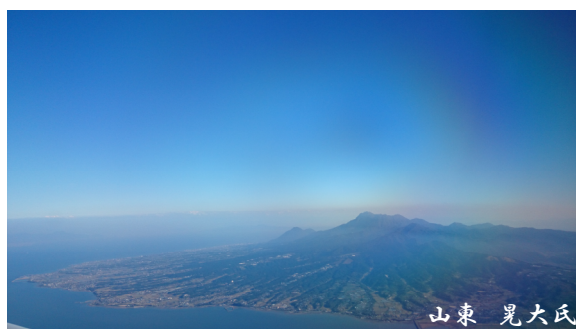
長崎空港に着陸前／離陸後の航空機からは、有明海や橘湾越しに“[北西面～北東面の雲仙岳](#)”が眺望できます。

本空港就航便の多くは雲仙岳の上空付近を航行するため、雲仙岳の航空写真が撮影可能で、雲仙岳と天草諸島が一望できる際には、雲仙天草国立公園のテーマである“[水陸の大展望](#)”を空から体感することができます。また、航路によっては阿蘇山を眺めることができ、[阿蘇山と雲仙岳の間の歴史的な大三角形](#)(※阿蘇地域のページ参照)を視覚的にイメージすることが可能です。阿蘇と島原半島はユネスコ世界ジオパークに、天草は日本ジオパークに認定されていますが、上空から眺めるとエリア全体の地形が一目瞭然で、大地の活動を想像することができます。

本空港の施設周辺からは、南東方向に大村湾越しに雲仙岳が眺望できます(↓)。昭和14年に「国立公園雲仙大観」を出版した橋本喜造氏は、著書の中で、江戸時代以降の雲仙岳を題材にした漢詩や歌、絵画等を幅広く収録・紹介し、雲仙岳が遠景・近景の両面で優れ、東西南北に異なる表情を見せるとして“富士山に負けない魅力”を力説されていますが、“最も秀麗なる山姿”として、大村湾を隔てて雲上に展望される雲仙岳を高く評価しています。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、長崎空港就航便で旅してみませんか？

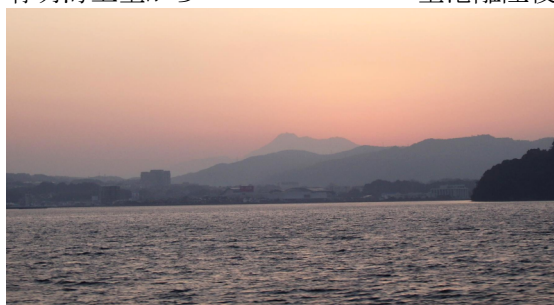
- 長崎空港就航便の情報は[こちら](http://www.nagasaki-airport.jp/flight/) ⇒ 長崎空港ビルディング株式会社



空港着陸前、有明海上空から



空港離陸後、多良岳上空から



空港の島にかかる箕島大橋から(大村湾越しに)